

Library NEWS

～図書館だより～

令和3年度 晃陽中学校図書館



例年に比べ涼しい夏休みでした。楽しい思い出をつくれませんか？
素敵な本と出会えましたか？ そんな話を、図書館に来て教えてくださいね。



映画の原作を読んでみよう！



『竜とそばかすの姫』
細田 守 角川文庫
913／ホ
『時をかける少女』
(2006年)、『サマー
ウォーズ』(2009年)
などで有名な細田守
監督の作品。

17歳の高校生・すずは“もうひとつの現実”と呼ばれるインターネット上の超巨大仮想空間〈U〉に「ベル」というアバターで参加し、素晴らしい歌声で世界中から注目される歌姫となり、そこで謎の「竜」と出会う。予約して原作を読んでみよう。

クロムブックの「R3晃陽中学校」というクラスルームに新しい本のお知らせを載せました。
コメントで予約できます。



返し忘れていた本は
ありませんか？

みなさん、「学校図書館の本」を
返し忘れていませんか？
借りた本の返却がまだという人は
急いで返却してください。
読み終わっていない人は延長できます。

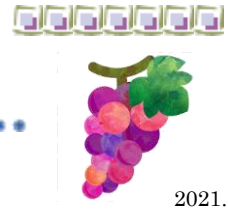


8月までの貸出数

1-1	1429冊
1-2	916冊
2-1	525冊
2-2	609冊
3-1	702冊
3-2	671冊
1人平均	26.2冊



晃陽中学校図書館にある



..... おすすめの本

2021.9



「月まで三キロ」伊与原 新 著 新潮社 361p

地球から月までの距離は、38万キロ。でも、タクシーの運転手さんは、月まで1番近い秘密の場所を知っているという。これは6つの短編集。月、雪、化石、年縞、素粒子、火山など、理系のエピソードが充実。科学系の豆知識が素敵なエッセンスになっている。ロマンチックで引き込まれるストーリー。あたたかさのある、やわらかなやり取りの中、心を揺さぶるシーンがあり、切なさもあり、泣ける場面もある。科学のきらめきが人の想いを結びつける短篇集。



「余命 3000 文字」村崎 羯諦 著 小学館 247p

26編の短編集。摩訶不思議な世界で描かれる涙と笑い、そしてやってくる“どんでん返し”。朝起きたら彼氏がサバ缶になっていた話が面白い。「何だかんだ銀座」は銀座の木に、銀座のハチミツを塗るとお金持ちのオジサンがやってきて、オジサンを捕まえて、家で飼うというお話。インパクトの強い話が、他にもたくさん。1つの話が短くて読みやすい。朝読などのひと時を彩る、“すき間”読書に最適なショート・ショート集。



「多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。」Jam 著 サンクチュアリ出版 173p

嫌な気持ちへの対処方法がわかりやすく書いてある。生きることが楽になるような不思議な力がある本。白ねこのマンガがかわいく、読みやすい。「そうだよね」と納得できる内容がたくさん。辛くて、いっぱいいいっぱいで、目の前が真っ暗になっているところに灯りをつけてくれるような文章。64の言葉・コツが載っている。読むと気持ちが楽になれる本。



「カメの甲羅はあばら骨」川崎 悟司 著 SBクリエイティブ 191p

動物の骨格を、分かりやすく人間のイラストで表現した本。フラミンゴの逆に曲がった膝の部分は人間という足首、ゾウの鼻、コウモリの手……。図鑑や動物園の解説で見たことはあるけど、ピンとこない動物の体。そんな、おなじみの動物たちの体のしくみを「人間の体を変形させる」ことでわかる驚きの真実。まるで進撃の巨人のような感じもする。動物の骨格を理解しやすい本。

..... 予約できます。

